



平成 24 年 12 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 安 永

代表者名 代表取締役社長 安永 暁俊

(コード番号 7 2 7 1 大証第二部)

問合せ先 常務取締役管理本部長 浅井 裕久

(TEL 0 5 9 5 - 2 4 - 2 1 2 2)

新製品開発および新分野進出に関するお知らせ

この度当社は、二次電池用集電箔の箔打・塗工・乾燥装置を開発し、2013年2月27日から3月1日まで東京ビッグサイトにて開催される「スマートエネルギーWeek2013 第4回国際二次電池展～バッテリージャパン2013～(リード エグジビション ジャパン株式会社主催)」に出展いたします。これを機に、新分野の二次電池市場に進出することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 新製品(装置)の名称

二次電池用穴あき突起集電箔打・塗工・乾燥装置

2. 新製品(装置)の概要

(1) 現行技術と課題

現行の技術は、大電流充放電・長寿命を実現するため、集電箔に電極材が薄く塗られた長い極板がトレンドになっています。しかし、極板が長くなると、箔及びセパレータの増加、低い生産性、充放電における電解液保持不足等が課題として考えられます。

(2) 課題の解決とポイント

当社が開発した装置は、「集電箔に電極材が厚く塗られた短い極板」を指向し、現行技術の課題を解決いたします。一般的な厚塗り極板には、①亀裂や剥離、②抵抗増加等といった特有の欠点がありますが、当社装置は集電箔の両面に穴あき突起を設けることで、電極材へのアンカー効果、電解液保持、電極材との接触面積の増加等を実現しております。

(3) 装置の特徴

①集電箔両面に穴あき突起を加工するための微細金型を搭載。

②インラインで穴あき突起集電箔の加工と電極材の両面同時塗工・乾燥を実現。

3. 今後の見通し

二次電池市場へ新規参入する当社は、第4回国際二次電池展に、試作装置と量産装置の2機種パネル展示を行い、現行技術とは逆の「厚塗り」を提案し、ご来場者の評価・反応

等をいただき、平成26年3月期からの販売を目論んでおります。

新たな二次電池工法を選択肢を提供する当社新製品は、将来の二次電池市場に貢献できるものと考えております。

なお、今回のお知らせに伴う平成25年3月期連結業績への影響はありません。

<本製品に関するお問い合わせ先>

株式会社 安永 R&D本部R&D部R&Dグループ 長谷、笠谷
(TEL 0595-26-2670)

以上

